

# 財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 葛尾村

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
156	784	82	1,022

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	1,968	1,821	147	125	91	1,619	
一般会計等	1,968	1,821	147	125		1,619	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
簡易水道	10	10	0	1				
国民健康保険	289	263	26	26				
介護保険	142	126	16	16				
後期高齢者医療	15	14	1	1				
老人保健医療	8	8	0	0				
介護サービス	1	1	0	0				
公営企業会計等 計				44		0	0	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。  
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数( - )で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
双葉地方広域市町村圏組合								
・一般会計	3,255	3,204	51	51	7	1,017	34	
・下水道事業特別会計	159	144	15	15		147		
福島後期高齢者医療広域連合								
・一般会計	2,961	2,886	75	75				
・後期高齢者医療特別会計	215,175	206,085	9,090	9,090	2,231			
福島県市町村総合事務組合								
・一般会計	12,538	10,917	1,621	1,621	2,966	0		
・消防補償等特別会計	1,557	1,557	0	0	-	-		
・消防賞しゅつ金特別会計	5	0	5	5	-	-		
・非常勤職員公務災害補償特別会計	50	44	6	6	20	-		
・自治会館管理特別会計	14	13	1	1	-	-		
一部事務組合等 計				10,864		1,164	34	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
土地開発公社 道路公社 財団									
地方公社・第三セクター等 計			0	0	0	0	0	0	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	509	611	102
減債基金	44	44	0
その他充当可能基金	0	0	0
充当可能基金 計	553	655	102

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	16.72	12.20	4.52	15.00	20.00	簡易水道	-	-	-
連結実質赤字比率	22.10	16.46	5.64	20.00	40.00				
実質公債費比率	15.9	13.1	2.80	25.0	35.0				
将来負担比率	11.0	2.9	8.10	350.0					
財政力指数	0.15	0.14	0.01						
経常収支比率	91.4	83.3	8.10						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数( - )で表示している。  
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。  
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。

# 財政状況等一覧表（平成21年度）

単位は「百万円」であることに注意  
 三セク調査以外の項目については、健全化判断比率算定様式に係る様式番号である  
 突合指示の無い項目については、各会計の決算書類を元に記載すること

1 「会計名」	1 「歳入総額(1)」	1 「歳出総額(2)」	1 「歳入歳出差引額(3)」	(単位:百万円)
団体名	市			
				標準税収入額等 A
				普通交付税額 B
				臨時財政対策債発行可能額 C
				標準財政規模 A+B+C
				総括表
				総括表

## 1. 一般会計等の財政状況

1 実質収支額(11)	1 「地方債現在高(12)」	(単位:百万円)					
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計							
××会計							
公営企業会計である場合 2 「特別会計名」 公営企業会計でない場合 1 「特別会計名」	公営企業会計である場合 法非適用企業の(歳入) 2 「歳入額(3)S」 公営企業会計でない場合 1 「歳入総額(1)」	公営企業会計でない場合 1 「歳入歳出差引額(3)」	公営企業会計である場合 2 「(8)資金不足額・剰余額」 公営企業会計でない場合 1 「実質収支額(11)」				

## 2. 公営企業会計等の財政状況

4 「将来負担額(9)」	(単位:百万円)							
会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
会計								法適用企業
会計								法適用企業会計である場合のみ備考欄に記載
...								
公営企業会計等 計								
公営企業会計である場合 法非適用企業の(歳出) 2 「歳出額(1)」 公営企業会計でない場合 1 「歳出総額(2)」								

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。  
 2. 法適用企業会計以外 4 「実質赤字(黒字)額・資金不足(剰余)額(3)」 「〃(11)」 「〃(21)」

4 「組合又は地方開発事業団の名称(1)」 「会計名(2)」  
 4 「(3)のうち一般会計等負担等見込額(4)」 「〃(8)」

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
事務組合								
...								
一部事務組合等 計								

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は、当該団体から当該団体から	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
土地開発公社							土地開発公社である場合: 総括表「土地開発公社」
道路公社							それ以外の法人: 4 F-ア「損失補償債務等負担見込額」
財団							
...							
地方公社・第三セクター等 計							

対象となる三セクについては、「作成要領」4.を参照。基本的に昨年度と同範囲。三セク調査 調査表1に基づいて記載すること。

(注) 損益計算書を作成していない団体・期別損益計算書を作成している団体は、増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

充当可能基金名	平成20年度決算 A	平成21年度決算 B	差引 B-A	(単位:百万円)
財政調整基金				4 1行目「財政調整基金」の「充当可能基金(9)」
減債基金				4 2行目「減債基金」の「充当可能基金(9)」
その他充当可能基金				4 1・2行目以外の「充当可能基金(9)」の合計
充当可能基金 計				4 「充当可能基金(9)」の「小計」

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金・預金・国債・地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

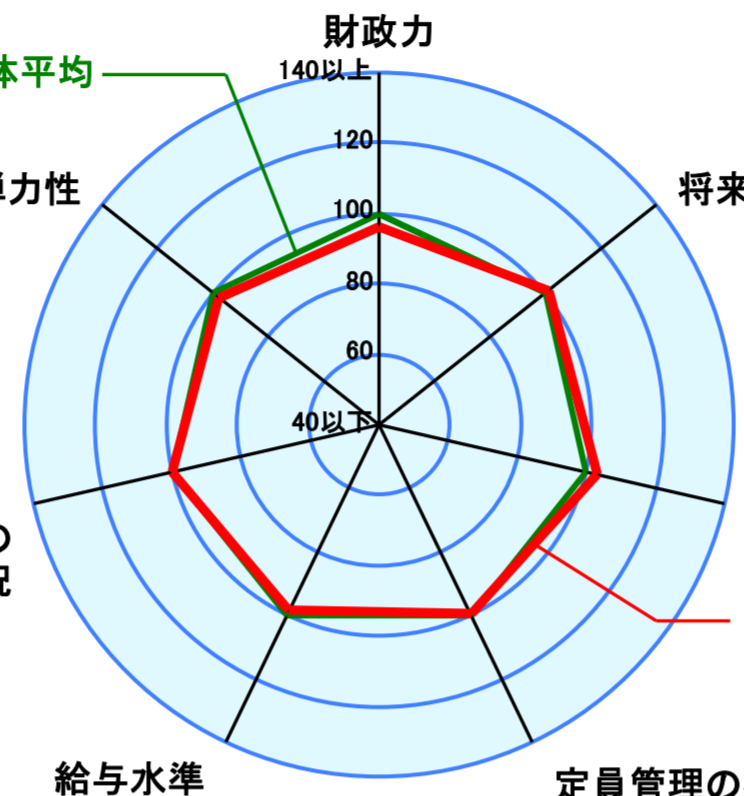
## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度決算 A	平成21年度決算 B	差引 B-A	早期健全化基準	財政再生基準	資金不足比率(公営企業会計名)	平成20年度決算 A	平成21年度決算 B	差引 B-A
実質赤字比率									
連結実質赤字比率									
実質公債費比率				25.0	35.0				
将来負担比率									
財政力指数									
経常収支比率									
総括表「実質赤字比率(%)」(平成21年度決算)				総括表「実質公債費比率」(平成21年度決算)			総括表「実質赤字比率」の「財政再生基準」(平成21年度決算)		
総括表「連結実質赤字比率(%)」(平成21年度決算)				総括表「実質赤字比率」の「早期健全化基準」(平成21年度決算)			総括表「連結実質赤字比率」の「財政再生基準」(平成21年度決算)		
総括表「実質赤字比率(%)」(平成21年度決算)				総括表「将来負担比率」(平成21年度決算)			総括表「資金不足比率」の「早期健全化基準」(平成21年度決算)		
総括表「連結実質赤字比率(%)」(平成21年度決算)							総括表「資金不足比率」の「早期健全化基準」(平成21年度決算)		

3. 早期健全化基準に相当する資金不足比率の「早期健全化基準」は、公営競技を除き、率 20%である(公営競技は0%)。

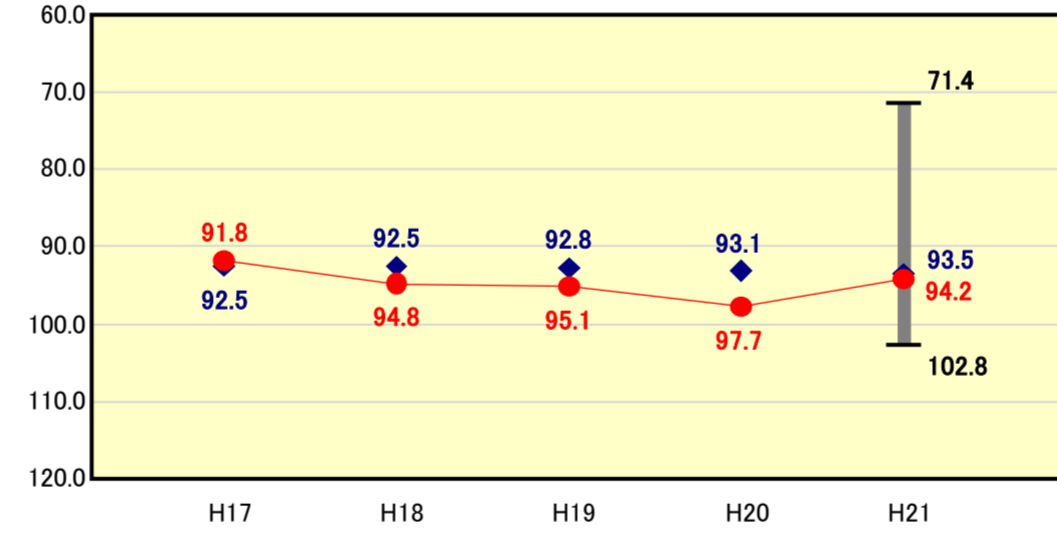
# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

人口	1,576	人(H22.3.31現在)
面積	84.23	km <sup>2</sup>
標準財政規模	1,022,218	千円
歳入総額	1,967,448	千円
歳出総額	1,820,513	千円
実質収支	124,777	千円



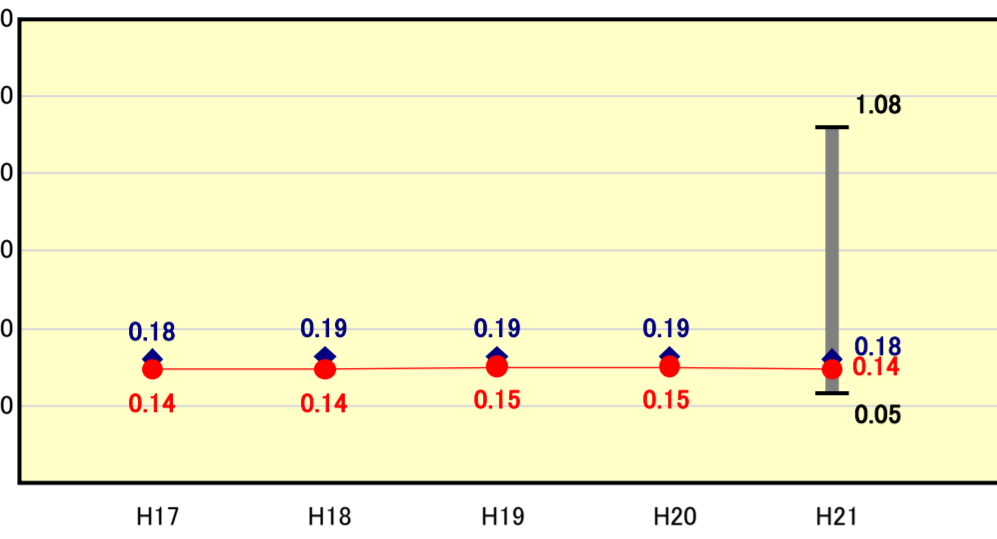
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

## 給与水準 (国との比較)



## 財政力

財政力指数 [0.14]

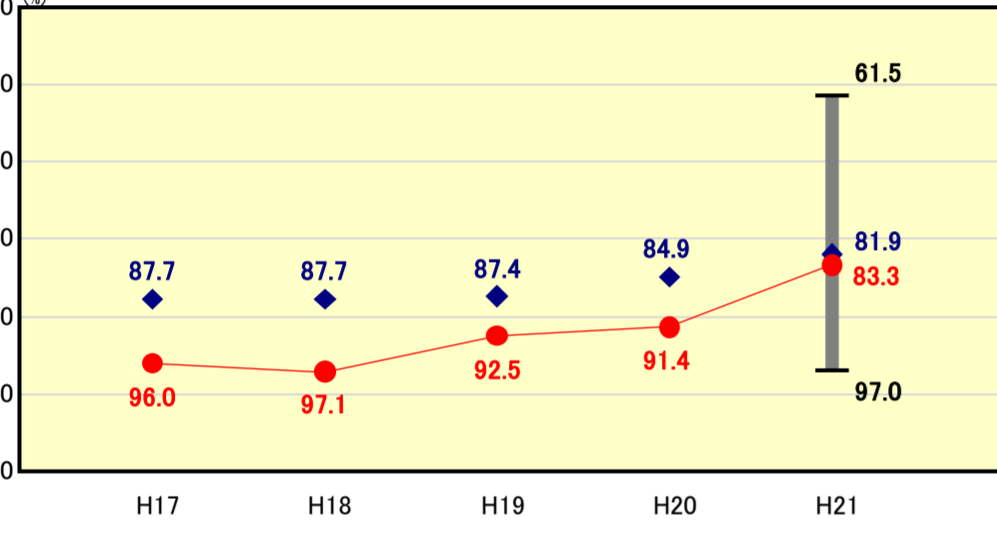


● 当該団体値  
 ◆ 類似団体内平均値  
 T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 79/123  
 全国市町村平均 0.55  
 福島県市町村平均 0.50

## 財政構造の弾力性

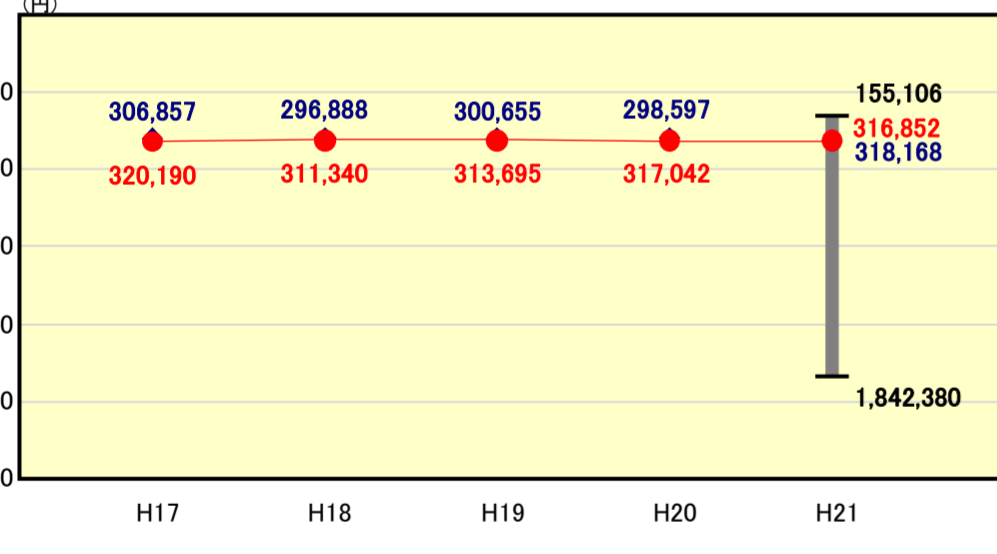
経常収支比率 [83.3%]



類似団体内順位 64/123  
 全国市町村平均 91.8  
 福島県市町村平均 87.7

## 人件費・物件費等の状況

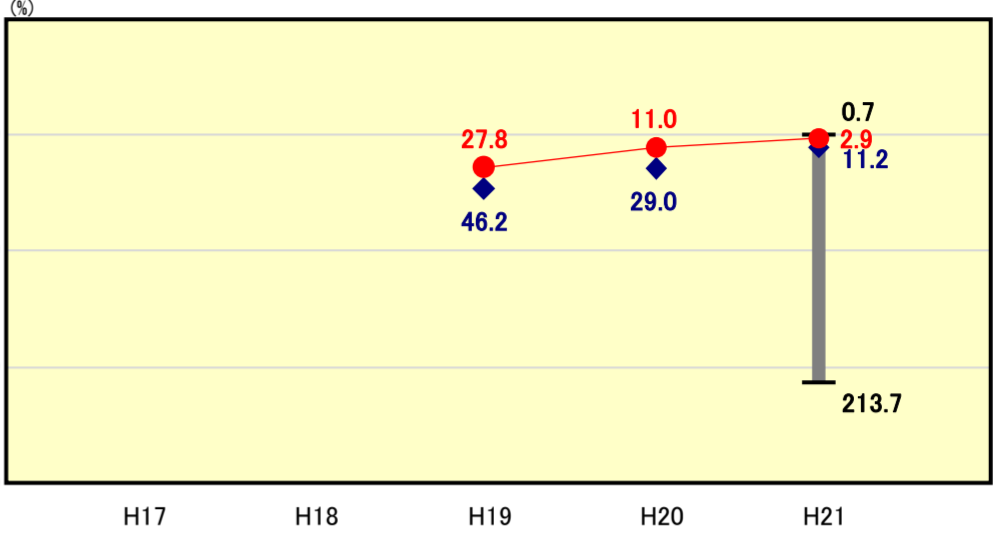
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [316,852円]



類似団体内順位 62/123  
 全国市町村平均 115,856  
 福島県市町村平均 117,767

## 将来負担の状況

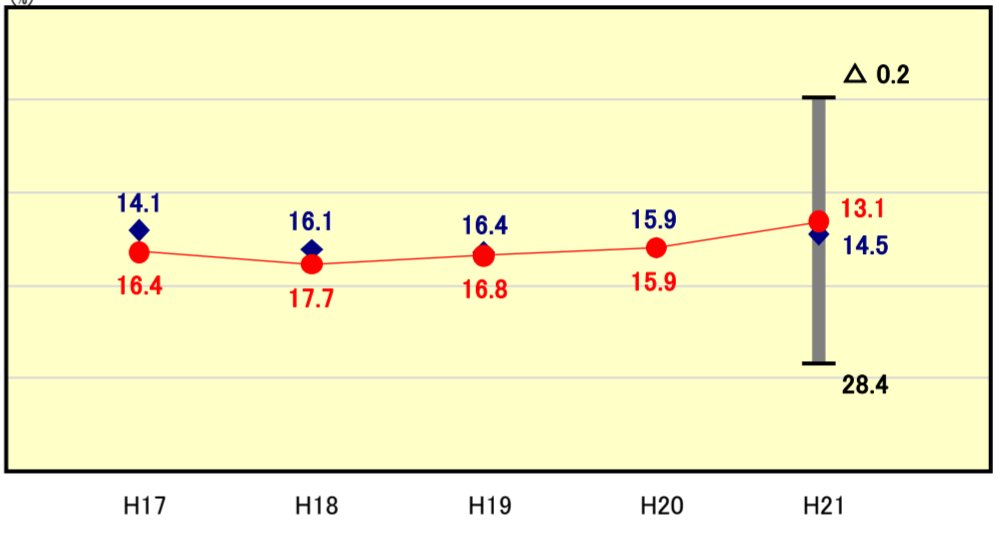
将来負担比率 [2.9%]



類似団体内順位 51/123  
 全国市町村平均 92.8  
 福島県市町村平均 90.1

## 公債費負担の状況

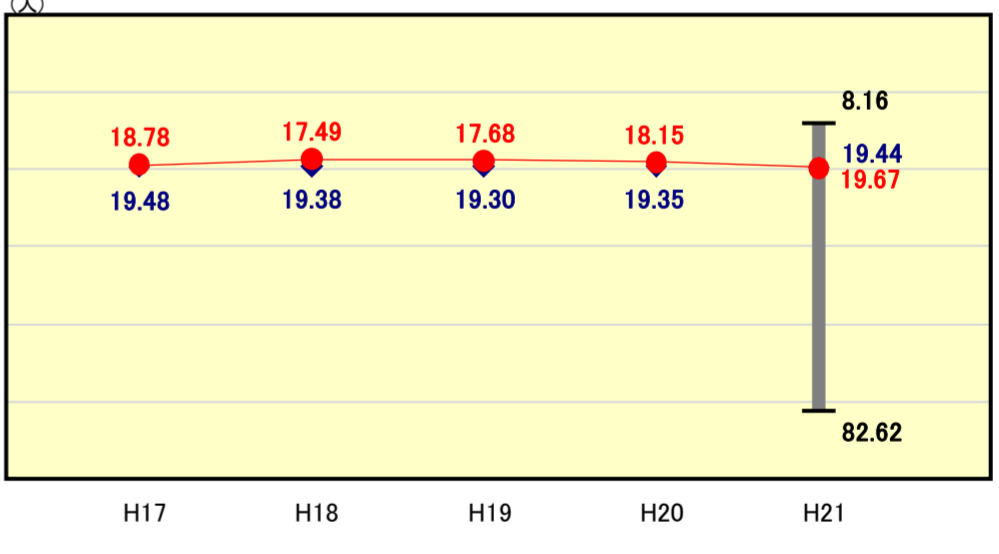
実質公債費比率 [13.1%]



類似団体内順位 51/123  
 全国市町村平均 11.2  
 福島県市町村平均 13.6

## 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [19.67人]



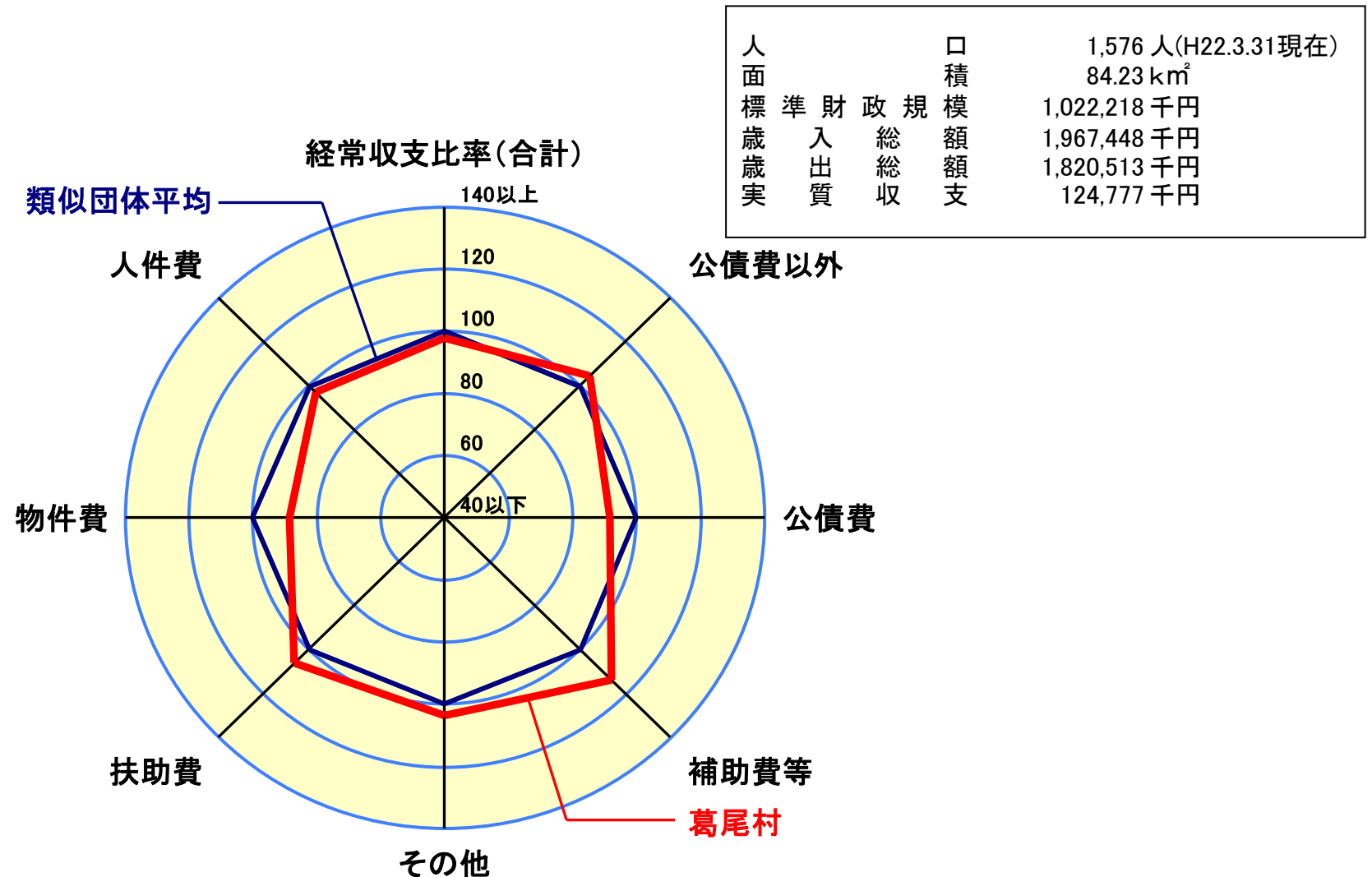
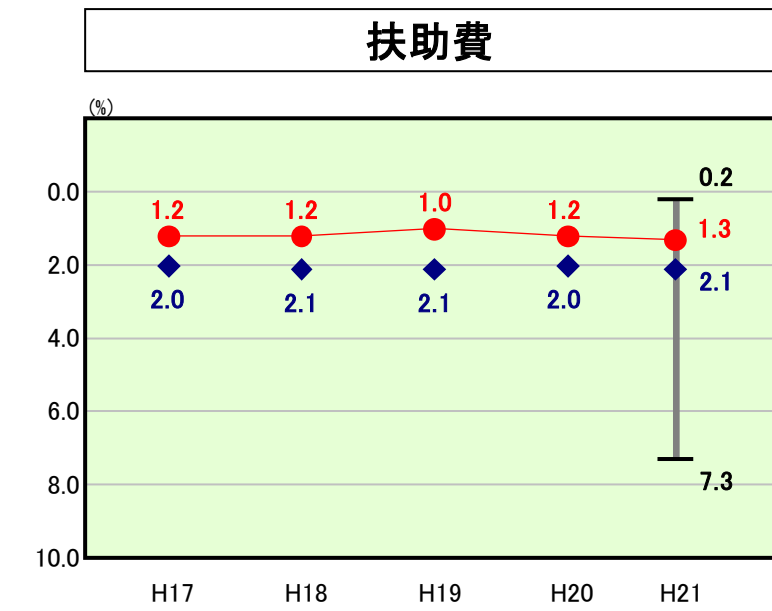
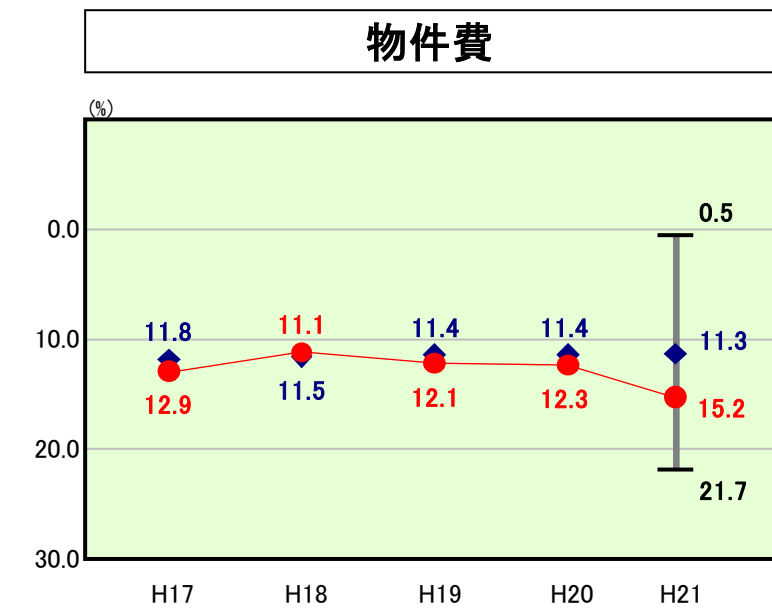
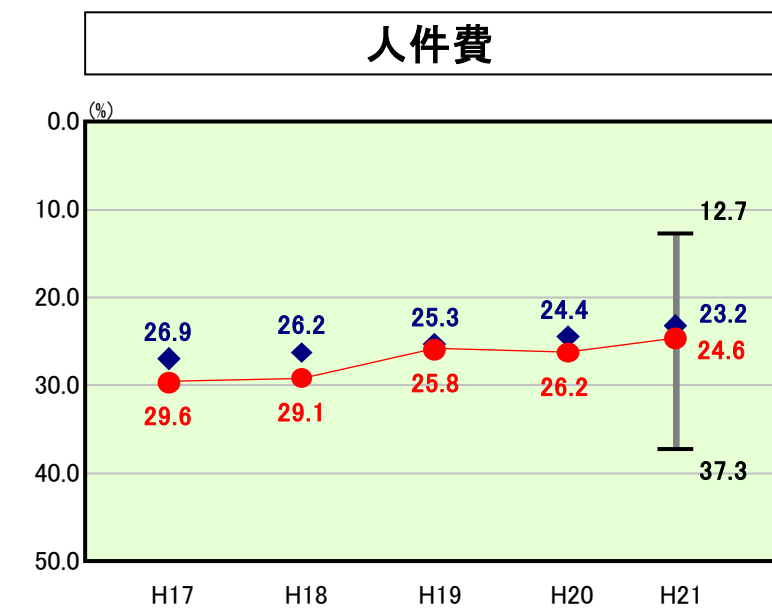
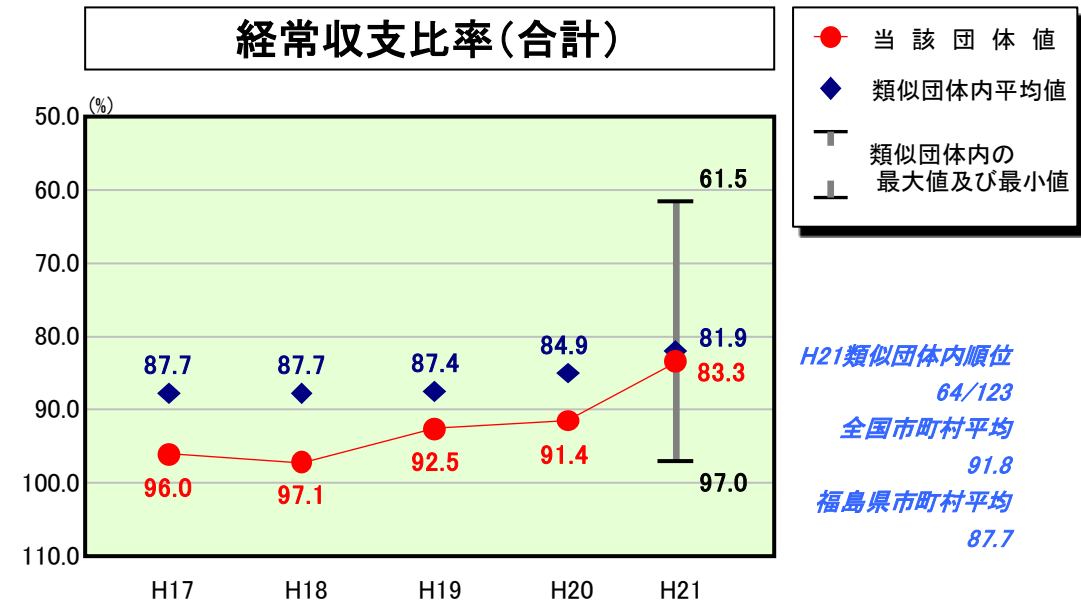
類似団体内順位 58/123  
 全国市町村平均 7.33  
 福島県市町村平均 7.43

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

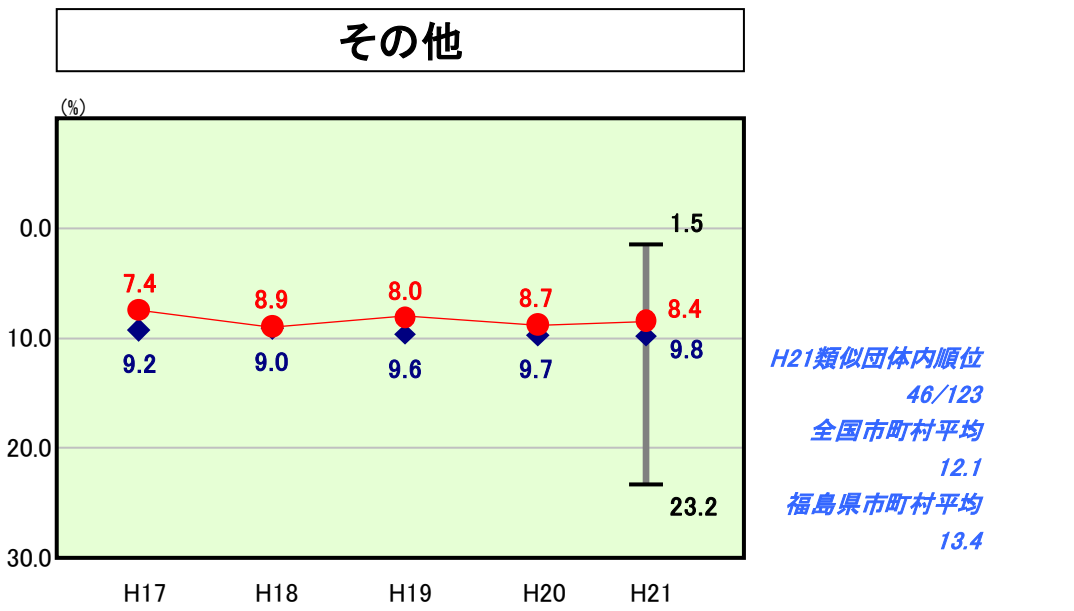
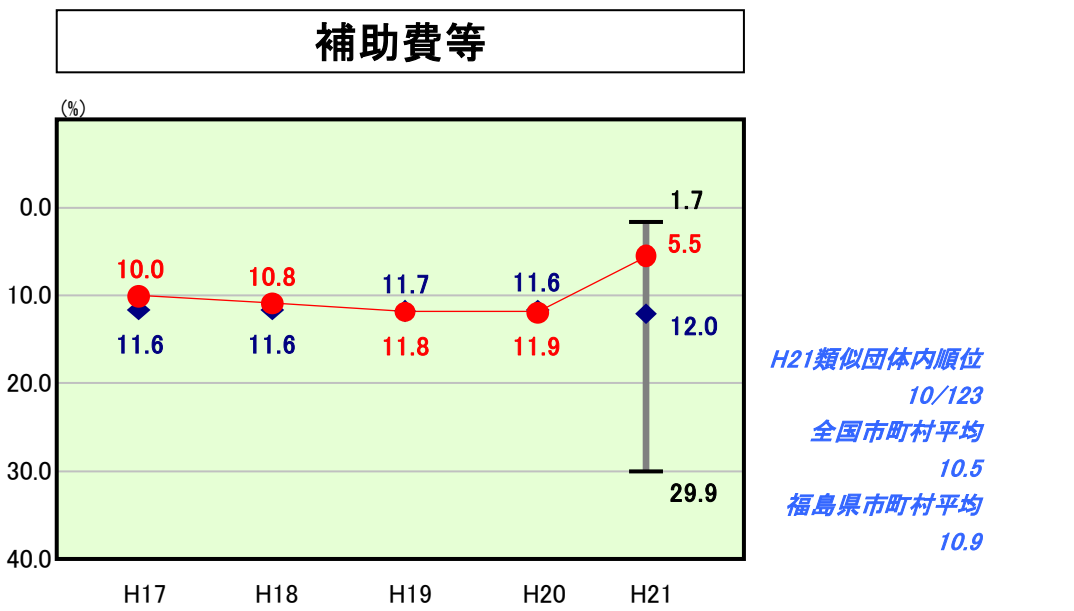
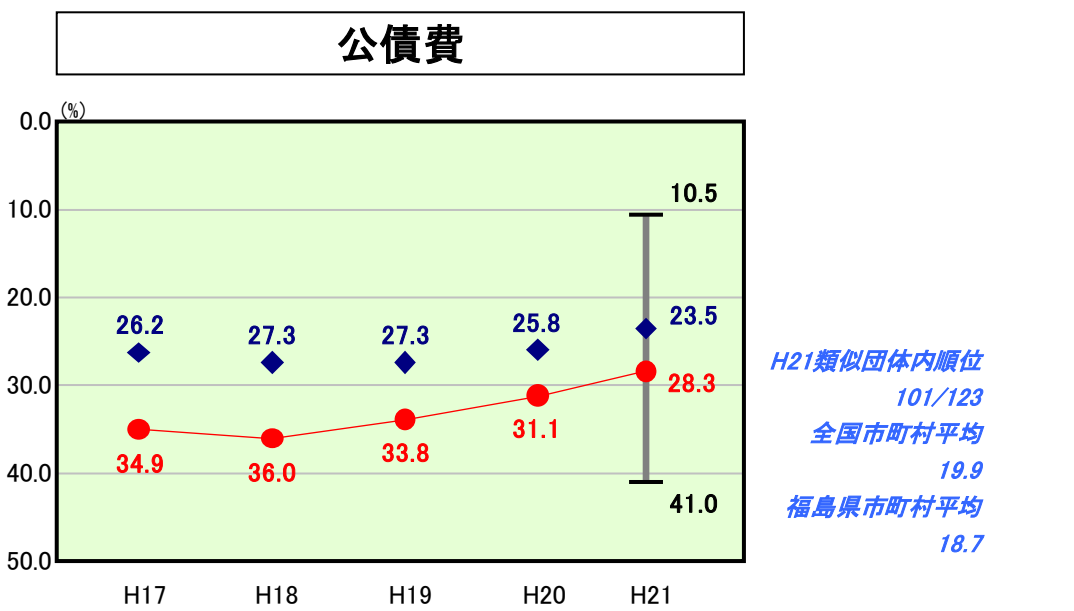
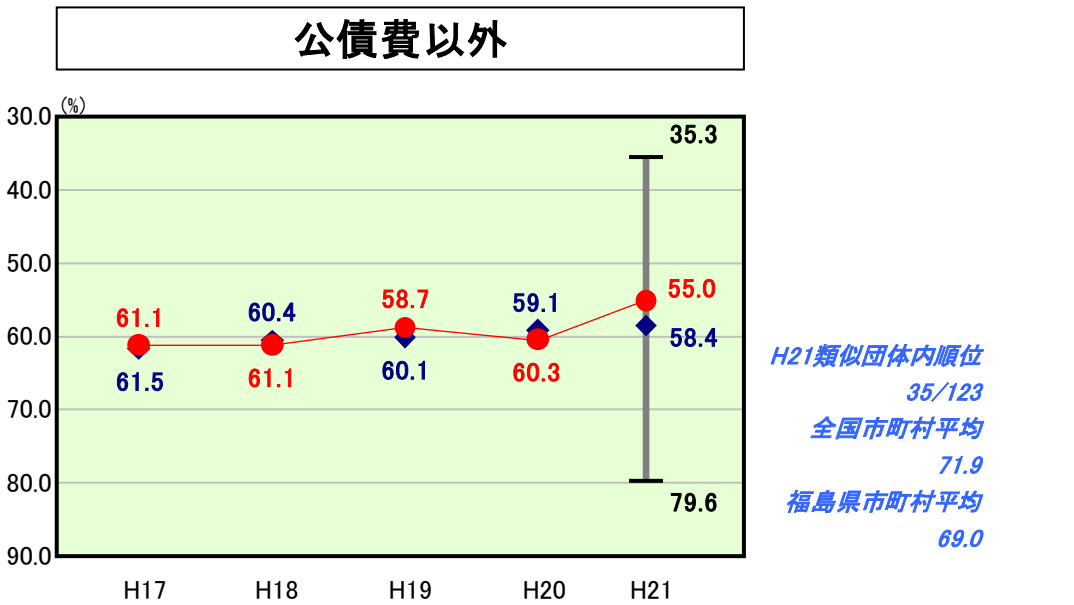
分析欄

# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	1,576人(H22.3.31現在)
面積	84.23 km <sup>2</sup>
標準財政規模	1,022,218千円
歳入総額	1,967,448千円
歳出総額	1,820,513千円
実質収支	124,777千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

Analysis section for the fiscal year 2021 (Heisei 21). This area is currently blank.